

高等学校 令和5年度（一学年用）

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者：

使用教科書：（ 筑摩書房『現代の国語』 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなう。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなう。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・社会生活に必要な国語の知識を身につける。 ・言語運用に対する理解を深める。	・論理的に考える力や共感する力を伸ばし、 伝え合う力を高める。	・我が国の言語文化の担い手としての自覚を 持ち、読み書きや話し方の基礎を定着させ る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し 合いを工夫する。	随筆『境目』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し 合いを工夫する。	評論『ことばとは何か』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し 合いを工夫する。	小説『羅生門』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し 合いを工夫する。	評論『デジタル社会』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	『短歌と俳句』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	小説『待ち伏せ』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『魔術化する科学技術』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『マルジャーナの知恵』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
3 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『開かれた文化』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『名づけと所有』	【知識・技能】 読解に必要な知識・技能が身についたか 【思考・判断・表現】 自分で考え、文章や口頭で表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や予習・復習に主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							74

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（三省堂『精選 言語文化』）
教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、特質を理解し適切に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなう。
【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなう。

科目 言語文化 の目標：古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・社会生活に必要な国語の知識を身につける。 ・我が国の言語文化に対する理解を深める。	・論理的に考える力や共感する力を伸ばし、 伝え合う力を高める。	・我が国の言語文化の担い手としての自覚を 持ち、文語文法の基礎を定着させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『児のそら寝』	○			考查・提出物・グループワーク	○	○	○	6
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『絵仏師良秀』		○		考查・提出物・グループワーク	○	○	○	7
	定期考查						○	○		1
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『東下り』		○		考查・提出物・グループワーク	○	○	○	8
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『漢文入門』		○		考查・提出物・グループワーク	○	○	○	7
	定期考查						○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『朝三暮四』	○		○	○	○	6
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『徒然草』	○		○	○	○	7
	定期考査				○	○		1
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『漢詩』	○		○	○	○	8
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『土佐日記』	○		○	○	○	7
	定期考査				○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『祇園精舎』	○		○	○	○	7
	【知識及び技能】 品詞と活用を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さについて話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 音読と品詞分解に取り組む	『木曾の最期』	○		○	○	○	7
								合計 74
	定期考査				○	○		

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍『精選論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『ミロのヴィーナス』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『相手依存の自己規定』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	小説『山月記』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	小説『山月記』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『メディアの変容』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み	○	○	○	5
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『「リスク」と「リスク社会」』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	小説『こころ』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	小説『こころ』 一人1台端末の活用 等	○			定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

	定期考査						○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『「である」ことと「する」こと』 一人1 台端末の活用 等			○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	7
	【知識及び技能】 ことばの認識や思考の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考えが的確に伝わるよう立場を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 論点を共有し、考えを深めるための話し合いを工夫する。	評論『日本人の美意識』 一人1 台端末の活用 等			○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
										合計
										74

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探求

教科：国語 科目：古典探求 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：

使用教科書：（精選 古典探求 古文編、漢文編）

教科 国語 の目標：古典としての古文と漢文を読む能力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。

【知識及び技能】古典的文章について、特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなう。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなう。

科目 古典探求 の目標：古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典的文章について、特質を理解し適切に理解できる。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなうことができる。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話・随筆 【知識及び技能】 用言・助動詞について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	大江山（古今著聞集） ゆく河の流れ（方丈記）	○		○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み	○	○	○	5
	故事成語 【知識及び技能】 書き下し文を自力で完成する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え、話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	画竜点睛		○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	物語 【知識及び技能】 用言・助動詞について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	月やあらぬ（伊勢物語） 光源氏の誕生（源氏物語）		○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	8
	儒家・道家の思想 【知識及び技能】 書き下し文を自力で完成する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え、話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	論語 老子	○	○		定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み取り組み	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1

2 学 期	日記・随筆 【知識及び技能】 用言・助動詞について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	あこがれ（更級日記） 中納言参り給ひて（枕草子）	○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み	○	○	○	6
	漢詩 【知識及び技能】 漢詩の規則を理解し書き下し文を自力で完成する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え、話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	春夜・送友人		○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み 取り組み	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1
	史伝 【知識及び技能】 書き下し文を自力で完成する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え、話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	鴻門之会（史記）	○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み 取り組み	○	○	○	8
	和歌・連歌・俳諧 【知識及び技能】 用言・助動詞について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	和歌十六首・古今和歌集仮名序	○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み 取り組み	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1
3 学 期	物語 【知識及び技能】 用言・助動詞について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	能登殿の最期（平家物語） 花山院の出家（大鏡）	○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み 取り組み	○	○	○	8
	日本の漢詩文 【知識及び技能】 漢詩の規則を理解し書き下し文を自力で完成する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の面白さを捉え話し合う 【学びに向かう力、人間性等】 予習復習に力を入れ、主体的に授業に取り組む	送夏目漱石之伊予	○	○	定期考査 小テスト 提出物 グループワークへの取り組み 取り組み	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1
	合計								
50									

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者：

使用教科書： 明解 歴史総合

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近代化と私たち 【知識及び技能】 各地の歴史の結びつきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 結びつきのきっかけや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	10
				○	○		1
	近代化と私たち 【知識及び技能】 日本の近代化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ペリー来航から日露戦争に至る日本の近代化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
				○	○		1
2 学 期	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦期までの国際秩序の変化や大衆化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦期までの国際秩序の変化や大衆化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	13
				○	○		1
	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第二次世界大戦期までの国際秩序の変化や大衆化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦期までの国際秩序の変化や大衆化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
				○	○		1
3 学 期	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 戦後・冷戦以降のグローバル化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後・冷戦以降のグローバル化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り 組ませる。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
				○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 A組～ G組

教科担当者：
使用教科書：詳説世界史探究（山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を
【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態
科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界各地の文化と関連づけながら総合的にとらえて理解している。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界各地の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる	世界各地の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	教科書第1～2章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	教科書第3～4章 【知識及び技能】 アジア各地の形成過程を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 様々なアジアについて多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学期	教科書第5～7章 【知識及び技能】 イスラム教や中世ヨーロッパの形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の歴史や交流について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	教科書第8～10章 【知識及び技能】 アジア各国の形成とヨーロッパの交流について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化の交流について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学期	教科書第11～13章 【知識及び技能】 近世以降のヨーロッパやアメリカ大陸について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパとアメリカ大陸の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：4 単位
対象学年組：第1学年 A組～ G組
教科担当者：
使用教科書：詳説日本史探究（山川出版社）
教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な
【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態
科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるように	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	原始・古代 【知識及び技能】 古代国家の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代国家について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	中世 【知識及び技能】 武家社会の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 武家社会について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学期	近世 【知識及び技能】 幕藩体制の形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕府統治を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	近代 【知識及び技能】 近代国家の形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学期	現代 【知識及び技能】 戦後日本の復興と変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後日本の復興と変容を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和5年度 教科
教科：公民科 科目：公共
対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（実教出版 公共）
教科：公民科

公民科 科目 公共
単位数： 2 単位

の目標：
【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果
【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成
【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各
科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 第1～2章 【知識及び技能】 自らの体験や先哲の思想を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会参画する自立した主体としての自己について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会参画する自立した主体についての自覚、公共空間における人間としての在り方生き方について自覚を深める。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 OneNoteの論述 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第1編 第3～5章 【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 OneNoteの論述 グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第2編 第1部 第1～2章 【知識及び技能】 日本国憲法の基本的性格と日本の政治機構について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 OneNoteの論述 グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	第2編 第2部 第1～2章 【知識及び技能】 現代の経済社会および日本経済の特質と国民生活について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 OneNoteの論述 グループワークへの取り組み	○	○	○	13
3 学 期	第2編 第3部 第1～2章 第3編 【知識及び技能】 国際政治・経済の動向と課題について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 OneNoteの論述 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（新編 数学 I（実教出版））
教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学 I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	数と式、図形と計算、二次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	数学を活用して事象を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフに関連付けて考察する力を身に付けている。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 数と式 【知識及び技能】 ・数式に対していろいろな見方をすることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係が分かる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 ・見通しを持って式を展開したり、因数分解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形しようとする。 ・複雑な式の展開やいろいろな因数	・指導事項： 1. 整式とその加法・減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 実数 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。・実数が直線上の点と1対1に対応していることを理解している。 ・絶対値の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・有理数を小数で表すことによって有理数の意味を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心を持ち、調べようとする。	・指導事項： 1. 実数 2. 根号を含む式の計算 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	6
	C 1次不等式 【知識及び技能】 ・不等式の性質を基にして、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解を数直線上に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基にして、1次不等式の解き方を考察することができる。 ・1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量の関係を不等式で表し、1次	・指導事項： 1. 不等号と不等式 2. 不等式の性質 3. 1次不等式 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D 2次関数 【知識及び技能】 ・座標平面上で、 $y = ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。 ・定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形することができる。 ・2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもつ。	・指導事項： 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	E 2次方程式と2次関数 【知識及び技能】 ・ $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点のx座標と2次方程式や2次不等式の解について考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。	・指導事項： 1. 2次関数のグラフと2次方程式 2. 2次関数のグラフと2次不等式 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
	H 集合と論証	・指導事項：	定期考査				12
3 学 期	定期考査			○	○		1
	F 図形と計量 【知識及び技能】 ・三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。・三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。	・指導事項： 1. 三角比 2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 三角形の面積 7. 空間図形の計量 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	21
	G データの分析	・指導事項：	定期考査	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							102

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科：数学 科目：数学A
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（新編 数学A（実教出版））
教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学A の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に	図形の構成要素間に関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第2章 図形の性質 【知識・技能】①三角形に関する基本的な性質について理解している。【思考・判断・表現】①図形の構成要素間に関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】①図形の性質やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとし定期考查	・指導事項： 三角形の性質 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	10
	第2章 図形の性質 【知識・技能】②円に関する基本的な性質について理解している。③空間図形に関する基本的な性質について理解している。【思考・判断・表現】②コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。【主体的に学習に取り組む態度】②図形の性質やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善定期考查	・指導事項： 円の性質・作図・空間図形 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	第1章 場合の数と確率 【知識・技能】①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。【思考・判断・表現】①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。【主体的に学習に取り組む態度】①場合の数と確率の性質やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている定期考查	・指導事項： 場合の数 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1

2 学 期	第1章 場合の数と確率 【知識・技能】③確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。④独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】②確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。③確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】②場合の数と確率の性質やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え	・指導事項： 確率 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第2章 数学と人間の活動 【知識・技能】①数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解理解している。②数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】①数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。②パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】①数学と人間の活動の性質やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。②数学と人間の活動の性質やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・	・指導事項： 数と人間の活動・円の性質・作図 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							54

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・3次の乗法公式および因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・パスカルの三角形および二項定理を理解し、それらを用いて計算することができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、その方法を用いていろいろな整式を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二項定理を用いて等式を証明することができる。 ・多項式の除法を、整数の除法と関連付けることができる。 ・分数の計算と分数式の計算の類似性を認識して、計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ $(a+b+c)^n$ の展開式について調べたり、係数を計算することができる。 ・分母や分子に分数式を含む式の計算や恒等式を証明することができる。	・指導事項： 1. 整式の乗法 2. 二項定理 3. 整式の除法 4. 分数式 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				11
	B 単元 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・剰余の定理や因数定理について理解し、高次方程式の解法などに因数定理を活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・解と係数の関係や判別式の意味を理解し、それらを対称式の値を求めるときなどに活用できる。 ・因数定理を用いて整式を因数分解できることから、高次方程式を解くことができることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・虚数では大小関係を考えないことを考察しようとしている。 ・共役な複素数の性質について調べようとしている。	・指導事項： 5. 複素数 6. 2次方程式 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				8
	定期考査			○	○	○	1
	C単元 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ・2次方程式を複素数の範囲で考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・1次の係数が偶数の2次方程式の解の公式を導くことができ、それを活用しようとする。 ・因数定理を用いて整式を因数分解できることから、高次方程式を解くことができることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・虚数では大小関係を考えないことを考察しようとしている。 ・共役な複素数の性質について調べようとしている。	・指導事項： 7. 因数定理 8. 高次方程式 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み				8

D 単元 【知識及び技能】 ・等式、不等式の基本性質や基本的な証明方法を理解している。 ・平方の大小関係について理解して証明に用いることができる。 ・相加平均と相乗平均の大小関係を理解して証明に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等式や不等式を目的に応じて変形し、その式の意味を明確に表現できる。 ・2変数の不等式の証明について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相加平均と相乗平均の関係を図形的に調べようとしている。 ・絶対値を含む不等式の証明を調べ 定期考査	・指導事項： 9. 等式の証明 10. 不等式の証明 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
A 単元 【知識及び技能】 ・平面上の2点間の距離や内分点と外分点の座標を求めることができる。 ・方程式で表された直線を図示することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円の方程式を一般形から標準形に変形するために、平方完成を用いることを着想できる。 ・x, y についての不等式を座標平面上の点の集合として図示する考え方を認識できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・点と直線の距離の公式について、複雑な式変形を根気強く理解しようとしている。 定期考査	・指導事項 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 円の方程式 5. 円と直線 6. 軌跡と方程式 7. 不等式の表す領域 8. 連立方程式の表す領域 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	B 単元 【知識及び技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について考察することができる。 ・2直線のなす角についてタンジェントの加法定理を用いて解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三角関数のグラフを活用して、周期や最大・最小などの基本的な性質を考察しようとしている。 ・三角関数を含む方程式について、グラフを用いて多角的に調べようとしている。	・指導事項： 1. 一般項 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数の性質 5. 三角関数のグラフ 6. 三角関数を含む方程式・不等式 7. 加法定理 8. 加法定理の応用 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	C 単元	・指導事項：	定期考査	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・導関数の定義を理解して計算することができる。 ・導関数と微分係数の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微分係数の図形的意味を考察できる。 ・変数に関係なく、導関数を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・導関数のグラフと元の関数のグラフについて多角的に調べようとしている。 ・グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。	・指導事項： 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 接線の方程式 4. 関数の増減と極大・極小 5. 方程式・不等式への応用 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	10
	B単元 【知識及び技能】 ・不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分の値が求められる。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微分と積分のj関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 ・面積を表す量として定積分をとることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・定積分と微分の関係について、多面的に調べようとしている。 ・3次関数のグラフと面積について多角的に調べようとしている。	・指導事項： 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積 ・教材： 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用： 画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科：数学 科目：数学B

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 D 組～ G 組

教科担当者：

使用教科書：（新編 数学B（実教出版））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度や評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 数列とその和 【知識及び技能】 ・数列の一般項の意味を理解できる。 ・等差数列や等比数列の一般項や初項から第 n 項までの和の求め方を理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数列の一般項 a_n の意味を理解し、等差数列や等比数列の性質に着目して公式を導くことができる。 ・数列を等差数列や等比数列として表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数列の一般項や初項から第 n 項までの和を n を用いて表し、それを用いて問題を解決に活用しようとする。 定期考查	・指導事項： 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み			○	○	7
				○	○			1
	B いろいろな数列 【知識及び技能】 ・記号 Σ の意味を理解し、和の公式を理解している。 ・階差数列を利用して、数列の一般項を求めることができる。 ・数列の和と一般項の公式を用いて、和が与えられた数列の一般項を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ Σ を用いた和の公式や Σ の性質を考察することができる。 ・階差数列を活用して一般項を求める考え方を考察することができる。 ・数列の和と一般項の公式で、 $n=1$ を調べる必要性を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数列の一般項や和の記号 Σ に関心をもち、数列を身近な問題の解決に活用しようとする。 定期考查	・指導事項： 1. 数列の和と Σ の記号 2. 階差数列 3. 数列の和と一般項 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など	定期考查 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み	○	○	○	7	
				○	○			1

2 学 期	C 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 ・漸化式で定められる数列の一般項を求めることができる。 ・数学的帰納法を理解して、等式などの命題の証明に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漸化式の意味と数列を漸化式で表現することのよさを認識できる。 ・数学的帰納法の意味と考え方を認識し、自然数を用いた命題の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漸化式に関心をもち、数列を漸化式を用いて表現しようとする。 ・数学的帰納法に関心をもち、命題に対する推論について数学的帰納法	・指導事項： 1. 漸化式 2. 数学的帰納法 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み		○	○	○	7
	D 確率分布と統計的な推測 【知識及び技能】 ・離散型確率変数の確率分布を求められる。確率変数の期待値、分散および標準偏差を求めることができる。 ・確率変数の期待値と分散・標準偏差や和の期待値や独立な確率変数の積の期待値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率変数の考え方と確率分布の意味を理解できる。 ・確率変数の和の期待値や独立な確率変数の積の期待値、和の分散などの公式が、どのような条件のもと利用できるかを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・不確定な事象を確率変数で表し、その性質や特徴を調べようとする。 ・確率変数の和の期待値や独立な確率変数の積の期待値、和の分散などの公式を求めようとする。	・指導事項： 1. 確率分布 2. 確率変数と確率分布 3. 確率変数の和と積 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み		○	○	○	8
	定期考査			○	○			1
	E 二項分布と正規分布 【知識及び技能】 ・二項分布や正規分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。 ・二項分布を正規分布による近似で、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二項分布の各値の確率が $P(X=r)=\binom{n}{r}C_r p^r q^{n-r}$ で与えられることを考察できる。 ・二項分布の期待値・分散・標準偏差の公式を導く過程を考察することができる。 ・標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活の中での二項分布の例を調べようとする。 ・身のまわりにある正規分布に従う事象を考察しようとする。	・指導事項： 1. 二項分布 2. 正規分布 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：画像の共有、小テストの配布回収、動画配信など・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークの取り組み 授業中の取り組み		○	○	○	5
	定期考査			○	○			1
	F 統計的な推測	・指導事項：	定期考査					7
	G 社会生活の中の数学	・指導事項：	定期考査					7
	H 経済と数学	・指導事項：	定期考査					7
	定期考査			○	○			1
								合計

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 A組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（数研出版 新編化学基礎）
教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物質の構成 【知識及び技能】 元素と物質の分類について学ぶ。 状態変化と熱運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物質を分離・精製する方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.18-35 第1編第1章「物質の構成」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	7
	物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造について学ぶ。 周期表について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と周期表の属や周期との関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.36-51 第1編第2章「物質の構成粒子」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	粒子の結合 【知識及び技能】 化学結合について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 結合と物質の性質との関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.52-79 第1編第3章「粒子の結合」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質について学ぶ。 化学反応式について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応に関与する物質の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 82-110 第2編第1章「物質と化学反応式」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 酸と塩基の定義について学ぶ。 中和反応について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 中和反応のに関与する物質の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 111-134 第2編第2章「酸と塩基の反応」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元の定義について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応に関与する物質及び電子の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教えあい、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 135-160 第2編第2章「酸化還元反応」	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 授業ノート（ワークシート） 小テスト ペアワーク、グループワークへの取り組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（ 高等学校 物理基礎 第一学習社 ）
教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、
【思考力、判断力、表現力等】様々な物理現象とエネルギーの利用について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方、様々な
【学びに向かう力、人間性等】物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	様々な物理現象とエネルギーの利用について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的、波、熱、電気、エネルギーとその利用における規則性や関係性を見出して表現することができる。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。 定期考査	・項目、内容：速度と加速度、等加速度直線運動、落下運動 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	8
				○	○		1
	B 力と運動の法則 【知識及び技能】 物体の運動と力の関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動と力の関係について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と力の関係に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。 定期考査	・項目、内容：様々な力、力のつり合い、運動の三法則 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	10
2 学 期				○	○		1
	C 仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 力学的エネルギーと物体の運動、仕事の関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーと物体の運動、仕事の関係について、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーや仕事における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーと物体の運動、仕事の関係に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：仕事、力学的エネルギー、力学的エネルギー保存則 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	6
	D 熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱や温度、比熱や熱容量の違いや関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱や温度、比熱や熱容量の関係について、観察、実験などを通して探究し、熱現象における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 熱や温度、比熱や熱容量の関係に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。 定期考査	・項目、内容：熱と温度、比熱と熱容量、熱量保存則 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
				○	○		1
				○	○		1

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（生物基礎（実教出版））
教科 生物 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本技能を身に付ける。	生物についての基本知識を踏まえ、生物現象を科学的に探究し、表現する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重する態度等を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と共通性について、細胞の観察などを通して探究し、共通点と相違点を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象について主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：多様性・共通性と その由来、細胞 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テスト の配布回収、画像の共有、動画配 信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	B 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生物とエネルギーについて、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、生命現象における酵素の重要性や呼吸・光合成の意義を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：生命活動とエネ ルギーの獲得、酵素と代謝 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テスト の配布回収、画像の共有、動画配 信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	B 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生物とエネルギーについて、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、生命現象における呼吸・光合成の意義を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：光合成と呼吸 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テスト の配布回収、画像の共有、動画配 信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	3
	C 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 遺伝情報とDNAについて、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝情報とDNAについて、観察、実験などを通して探究し、DNAが遺伝情報の保存する仕組みなどを見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：遺伝子の本体、DNA の構造、DNAの複製と分配 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テスト の配布回収、画像の共有、動画配 信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	D 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】 遺伝情報とタンパク質の合成について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝情報とタンパク質の合成について、観察、実験などを通して探究し、DNAとタンパク質の関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。 定期考査	・項目、内容：遺伝子とタンパク質、タンパク質の合成、遺伝子の発現、ゲノムと遺伝子 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	8
	E ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 体内環境の恒常性について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体内環境の恒常性について、観察、実験などを通して探究し、体液の状態を維持する仕組みを見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。 定期考査	・項目、内容：体内環境と恒常性、体液の調節、自律神経系、内分泌系 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	F 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生態系について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態系について、観察、実験などを通して探究し、生物の多様性と生態系の関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。 定期考査	・項目、内容：植生と遷移、バイオーム、生物多様性、生態系のバランス ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							50

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 D組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（高等学校 化学 第一学習社）
教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能
【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	化学に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 物質の状態 【知識及び技能】 物質の状態について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態について、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の状態について主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：物質の状態、気体の性質、溶液の性質、固体の構造 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	B 化学反応とエネルギー 【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応とエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：化学反応と熱・光、電子と電気分解 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 化学反応の速さと平衡 【知識及び技能】 化学反応の速さと平衡の関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応の速さと平衡の関係について、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーや仕事における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応の速さと平衡の関係に主体的に関わり、科学的に探究しようすることができる。	・項目、内容：化学反応の速さ、化学平衡、水溶液中の化学平衡 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

期	D 熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱や温度、比熱や熱容量の違いや関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、熱現象における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 無機物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。 定期考査	・項目、内容：周期表と元素、非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物、遷移元素の単体と化合物 無機物質と人間生活 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	8
				○	○		1
3 学 期	E 有機化合物 【知識及び技能】 有機化合物について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物に主体的に関わり、科学的に探究しようとするこ	・項目、内容：有機化合物の特徴と構造、炭化水素、アルコールと関連化合物、芳香族化合物、有機化合物と人間生活 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	10
	F 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物の性質について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、音波における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物の性質に主体的に関わり、科学的に探究しようとするこ	・項目、内容：天然高分子化合物、合成高分子化合物、高分子化合物と人間生活 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		1
合計							
80							

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 D組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（高等学校 物理 第一学習社）
教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物体の運動 【知識及び技能】 様々な運動について、それらの運動における規則性や関係性について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、それらの運動における規則性や関係性を見出して表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 授業や演習活動に主体的に関わり、提出物や考査への準備に積極的に取り組んでいる 定期考査	・項目、内容：落下運動、剛体のつりあい、運動量保存則、円運動、単振動、万有引力の法則 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	28
				○	○		1
	理想気体、熱 【知識及び技能】 熱や温度、比熱や熱容量の違いや関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱や温度、比熱や熱容量の関係について、観察、実験などを通して探究し、熱現象における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 熱や温度、比熱や熱容量の関係に主体的に関わり、科学的に探究しよう 定期考査	・項目、内容：ボイル・シャルルの法則、状態方程式、熱力学第一、第二法則 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	12
				○	○		1
2 学 期	波の性質 【知識及び技能】 波の性質について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 波の性質について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 波の性質に主体的に関わり、科学的に探究しよう 定期考査	・項目、内容：正弦波、横波と縦波、波の性質 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	7
				○	○		1
	音波、光波 【知識及び技能】 音波、光波特有の性質について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音波、光波特有の性質について、観察、実験などを通して探究し、音波における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音波、光波特有の性質に主体的に関わり、科学的に探究しよう 定期考査	・項目、内容：音の三要素、弦と管の振動、共振共鳴、ドップラー効果 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	○	18
	G 静電気と電流 【知識及び技能】 静電気や電界、電流や電圧などの電気回路について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	・項目、内容：電気量保存則、オームの法則、電力 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み				

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 静電気や電界、電流や電圧などの電気回路について、観察、実験などを通して探究し、静電気や電界、電流や電圧などの電気回路における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 静電気や電界、電流や電圧などの電気回路に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。 定期考査		○	○	○	29
			○	○		1
	II 電流と磁場 【知識及び技能】 電流と磁場の関係について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場の関係について、観察、実験などを通して探究し、電流と磁場における規則性や関係性を見出して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電流と磁場の関係に主体的に関わり、科学的に探究しようとすることができる。	・項目、内容：電流が作る磁場、フレミング左手の法則、交流 ・教材：教科書、ワーク ・一人1台端末の活用：小テストの配布回収、画像の共有、動画配信など	定期考査 小テスト グループワークへの取り組み	○	○	22
	学年末考査		○	○		1
						合計
						120

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
対象学年組：第1学年 A組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（現代高等保健体育）
教科 保健体育

の目標：
【知識及び技能】運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるように
【思考力、判断力、表現力等】についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える
【学びに向かう力、人間性等】って継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態

科目 保健	の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思	態	配当 時数
1 学 期	健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題について、理解できる。また、健康の成立には、主体要因と環境要因が影響しあっていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、健康水準や疾病構造の変化に関するデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	3
	生活習慣病 【知識及び技能】 生活習慣病について、種類や要因、予防について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題である生活習慣病について、ノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	6
	飲酒喫煙薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

2 学 期	飲酒喫煙薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	4
	精神疾患 【知識及び技能】 精神疾患について、個人や社会における課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患について、予防や対策について整理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	3
	現代の感染症 【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行の違いがあること、予防や対策について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	4
	健康の考え方 【知識及び技能】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	2
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	安全な社会づくり 【知識及び技能】 安全な社会づくりのためには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりのために必要な、責任ある行動とは何かを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	4
	応急手当 【知識及び技能】 適切で迅速な応急手当ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な応急手当を選択することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1	
								合計
								35

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位
対象学年組：第1学年 A組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（現代高等保健体育）
教科 保健体育

【知識及び技能】運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるように
【思考力、判断力、表現力等】についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。
【学びに向かう力、人間性等】：継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態
科目 体育 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたっ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	体育の授業の進め方について	プリント提出		○	○	1
	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	6
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	3
	柔道 【知識及び技能】 伝統的な考え方を学び、相手の動きの変化に応じた基本動作ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 見取り稽古などから、動きを分析し良い点や修正点を指摘すること。 【学びに向かう力、人間性等】 柔道に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	7
	陸上競技 【知識及び技能】 走・跳・投動作について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走・跳・投動作について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	7
	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	12

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健
対象学年組：第1学年 A組～ G組
教科担当者：
使用教科書：（現代高等保健体育）
教科 保健体育

単位数：1 単位

の目標：
【知識及び技能】運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるように。
【思考力、判断力、表現力等】についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。
【学びに向かう力、人間性等】って継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度。
科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康課題についてデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	7
	労働と健康 【知識及び技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をしなければならないことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康について、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう設定されていることが説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、学習したことをノートやプリントにまとめること	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	5
	食品と健康 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の安全性がどのように確保されているかについて整理することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品と健康について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	3
	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療制度、保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	3
	医薬品の制度とその活用 【知識及び技能】 医薬品は、有効性及安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることが理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 医薬品の正しい使い方について説明でき、実践することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 医薬品の制度とその活用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

3 学 期	様々な保健活動や社会対策 【知識及び技能】 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康課題に対して、行われている保健活動や社会的対策について説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な保健活動や社会対策について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	健康に関する環境づくりと社会参加 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことがお理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康に関する環境づくり、適切な健康情報の活用ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康に関する環境づくりと社会参加について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位
対象学年組：第1学年 A組～G組
教科担当者：
使用教科書：（現代高等保健体育）
教科 保健体育

の目標：
【知識及び技能】運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるように
【思考力、判断力、表現力等】についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。
【学びに向かう力、人間性等】って継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態
科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたっ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	体育の授業の進め方について	プリント提出		○	○	1
	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 批判的に主体的に考え、解決策を	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	陸上競技 【知識及び技能】 走・跳・投動作について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走・跳・投動作について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	4
	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	8

2 学 期	テニス 【知識及び技能】 基本的なストローク、サーブ、ボレーができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを理解し、習得した技能を用いて、ゲームに勝つことを考えたり伝えあったりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	10
	水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	8
	バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	12
3 学 期	体づくり運動 【知識及び技能】 体づくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	4
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じて課題を共同で	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じて課題を共同で	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	8
	バドミントン 【知識及び技能】 基本的なストローク、サーブができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを理解し、習得した技能を用いて、ゲームに勝つことを考えたり伝えあったりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ノート提出 実技への取り組み	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

单位数： 2 单位

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い!

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	器	創	評価規準	知	思	態	時配 数当
1 学 期	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う	・曲にふさわしい発声などの技能を身に付けるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい歌唱表現の技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌うとともに、自分の表現を工夫して演奏する	○		○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じたことに関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている		○	○	12
	表現を工夫してギターを演奏する	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する ・曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使用方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する	○	○	○	創意工夫を生かした器楽表現をするために必要 い奏法、身体の使用方などの技能を身に付け、 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱 それらの働きを感じしながら、知覚したことと感 りについて考え、どのように演奏するかについて ・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関 的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとして		○	○	10
2 学 期	作曲家の生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を聴き取る	・J.S. バッハやW.A. モーツァルトの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解 オズトレネより 根拠なき希望 曲や ギターの奏法を身に付ける とともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使用方などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を			○	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、 文化的・歴史的背景との関わりについて理解し、 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱 それらの働きを感じながら、知覚したことと感 りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評 て考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴い		○	○	6
	表現を工夫してギターアンサンブルを行う		○	○	○	創意工夫を生かした器楽表現をするために必要 い奏法、身体の使用方などの技能を身に付け、 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱 それらの働きを感じしながら、知覚したことと感 りについて考え、どのように演奏するかについて ・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関 的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとして		○	○	14
	発音や発声を工夫して合唱やヴォイスアンサンブルを行う	各パートの役割を理解するとともに、全体の響きをイメージしながら表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする技能を身に付けながら、イメージを	○		○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必 い発声、言葉の発音、身体の使用方などの技能 で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱 それらの働きを感じながら、知覚したことと感 りについて考え、どのように歌うかについて表現		○	○	8
3 学 期	コード進行をもとにメロディを創作する	多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、さまざまな手法を活用しながらイメージをもって創作する音のつなげ方やフレーズのまとまり、重なりによる響きを理解し、反復、変化などの手法を活用してメロディーをつくる技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して創作する	○		○	創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要 を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アン 形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱 それらの働きを感じながら、知覚したことと感 りについて考え、どのように歌うかについて表現 イリス・アンサンブルによる表現の特徴、及び各パ		○	○	6
	曲想と音楽の構造や歌詞とのかわりについて理解し、ミュージカルナンバーを歌おう	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ それらの働きを感じながら、知覚し りについて考え、どのように歌うかに 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり 歌唱の学習活動に取り組もうとして	○	○	○	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために い発声、言葉の発音、身体の使用方などの技能 で表している。 ・音楽の特徴と他の芸術との関わりについて考		○	○	14 合 計 70

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

单位数： 2 单位

組

)

の目標： 芸術文化に理解を深め生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる

【思考力、判断力、表現力等】発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得する

科目 美術Ⅰ の目標： 感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさをなどを考え構想する

[illegible]

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：藝術

科目：書道Ⅰ

單位數： 2 單位

対象学年組：第 1 学年 AB 組～ D 組 FG 組

教科担当者：

使用教科書：（「書道Ⅰ」（東京書籍）

教科 芸術

の目標： 芸術活動により、生活や社会の中の芸術文化に関わる資質・能力を育成する

【知識及び技能】芸術に関する特質について理解し、意図に基づいての表現技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫し、芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする
【学びに向かう力、人間性等】芸術を生涯を通して愛好する心情を育て、感性を高め、心豊かな生活社会を創造する態度情操を育む

科目 書道Ⅰ

の目標： 生活や社会の中の書、書の伝統文化と幅広く関わる資質・能力を高める

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性等につき、幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技巧を身につけようとする	書の様式や美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	数 配 当 時
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	単元 漢字の書 【知識及び技能】 漢字の成立と変遷を知る 【思考力、判断力、表現力等】 古典に基づく学習の意味と方法を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 ・教材 教科書、プリント				○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	4
	単元 漢字の書 楷書 【知識及び技能】 唐代の各書風の特徴を理解し、 臨書学習に生かす 【思考力、判断力、表現力等】 唐代の各書風の特徴を理解し、 臨書学習に生かす 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 楷書の特徴、表現を比べ、臨書する 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」「自書告身」「牛橛造像記」「閼寺心経」 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	22
2 学 期	単元 漢字の書 行書 【知識及び技能】 晋唐、平安時代の行書の特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 各書風の特徴を理解し、 臨書学習に生かす 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 行書の特徴、表現を比べ、臨書する 「蘭亭序」「争座位文稿」 「風信帖」 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	12
	単元 漢字の書 草書 【知識及び技能】 草書の特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 草書の特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的授業態度と学び合いに努める	・指導事項 草書の特徴、表現を比べ、臨書する 「真草千字文」「書譜」 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	4
	単元 漢字の書 隷書・篆書 【知識及び技能】 隷書、篆書の特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 隷書、篆書の特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学び合いに努める	・指導事項 隷書、篆書の特徴を知り、臨書する 「曹全碑」「乙瑛碑」「泰山刻石」 「石鼓文」 ・教材 教科書、プリント、書具		○		○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	4
	単元 仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成立と特徴を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の成立と特徴を理解し、臨書する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学ぶ愛に努める	・指導事項 仮名の特徴を知り、古筆臨書をする 平仮名の単体、変体仮名、連綿、 行書き、散らし書き 「蓬萊切」 ・教材 教科書、プリント、書具			○	○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	20
3 学 期	単元 漢字かな交じりの書 【知識及び技能】 漢字かな交じりの書の創作 【思考力、判断力、表現力等】 古典や古筆の特徴、用具用材の特徴を生かした作品を作る 【学びに向かう力、人間性等】 積極的な授業態度と学ぶ愛に努める	・指導事項 漢字かな交じりの書の創作を通して、創造性や表現力を伸ばす ・草稿づくり、作品制作 ・教材 教科書、プリント、書具	○			○	・授業に取り組む態度 ・作品 ・振り返りシート	○	○	○	4
											合計

教科：芸術
対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（MOUSA2
教科 芸術Ⅱ

単位数： 2 単位

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】創意的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う

科目 音楽Ⅱ	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	曲の理解や表現の向上のための基礎	曲種に応じた発声方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの歌を歌う ・楽譜の読み書きを早く正確に行い、表現に生かせる力を身に付ける。 ・身近な曲の旋律をもとに、音楽を形作っている要素の働きを変えることで、曲の持つ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	実技テスト 振り返りテスト	・Alleluja ・ヴォイストレーニング ・歩いて帰ろう ・One more chance 「ルールを守って音楽を楽しもう」 ・楽典		○	○	○	4

2 学 期	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・天体観測 ・サザエさん	【知識・技能】 曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	時代と作品を理解する 映画音楽を観賞する	・音楽史をたどりながらそれぞれの時代の作品の特徴を理解し、魅力を味わう ・「音楽史」 「映画音楽を聴こう 映画「ハリポッターと賢者の石」	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかかわりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの考えとのかかわりについてかんがえらるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、	○	○	○	6
	実技テスト			○	○	○	4
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い2	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする ・Tears In Heaven ・シンコペーテッド・クロック	【知識・技能】 曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように打つかについて独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
3 学 期	実技テスト			○	○	○	4
							合計
							54

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 美術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術 単位数：2 単位 美術

対象学年組：第2学年D組～G組

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 日本文教出版 美術2 ）

教科 美術 の目標：

【知識及び技能】美術1を踏まえ絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び美術の多様性について理解

【思考力、判断力、表現力等】形や色などの造形を形つくる要素やその表現意図を認識し、どのように表現するかについて考えることが

【学びに向かう力、人間性等】主体的積極的に作品などから良さや美しさを感じ取り批評などして幅の広い見方を獲得することができる

科目 美術2 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画、彫刻などの構造や文化的歴史的背景など関わり及び美術の多様性などについて理解を深める。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力をやしなうことができる。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、尊重して能力の向上をはかる態度をやしなうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学期	石膏デッサン 【知】 意図した明暗を鉛筆を使って正しく認識し立体を表現できる 【思】 立体であることを認識し表現意図をもって制作できる 【態】 主体的に積極的に表現している	鉛筆によるグラデーションの作り方				作品 制作態度				4
	色面構成 【知】 色の3属性を理解し、適切な色を選択して制作できる 【思】 課題を理解し表現意図を持って制作できる 【態】 主体的に積極的に制作できる	画面構成の方法について 色の3属性 トーンについて 色彩計画				作品 制作態度				10

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理表現
 教科：外国語 科目：論理表現 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～ G組
 教科担当者：
 使用教科書：（数研出版 BIOG DIPPER English Logic and Expression I ）
 教科 外国語 の目標：
 【知識及び技能】基本的な英語の知識を身に着ける。国際社会及び日本文化を知る。
 【思考力、判断力、表現力等】自らの考え言語で表現する。他者の意見を理解する。
 【学びに向かう力、人間性等】他者と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う。
 科目 論理表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的な英語を使えるようになる ・外国文化及び日本文化についての知識を深める	・相手が伝えたいことをとらえる ・自分の伝えたいことをなるべく正しい英語で表現する	・積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う ・語彙力などを自ら進んで高める態度を養う

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	書						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	動詞と時制	○	○			○	考查 提出物 グループワーク	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	完了形	○	○			○	考查 提出物 グループワーク	○	○	○	6
	定期考查								○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	助動詞	○	○			○	考查 提出物 グループワーク	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	態	○	○			○	考查 提出物 グループワーク	○	○	○	6
	定期考查								○	○		1

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	「発 話」	書						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Japan's New Tourism	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	9
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Light from Creatures	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	定期考查								○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Routes to the Top	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Left to Right, Right?	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	定期考查								○	○		1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Banana Paper	○	○	○			考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Patterns in Human Behavior	○	○	○			考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10

[illegible]

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ G組

教科担当者：

使用教科書：（数研出版 BIOG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】基本的な英語の知識を身に着ける。国際社会及び日本文化を知る。

【思考力、判断力、表現力等】自らの考え言語で表現する。他者の意見を理解する。

【学びに向かう力、人間性等】他者と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う。

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的な英語を使えるようになる ・外国文化及び日本文化についての知識を深める	・相手が伝えたいことをとらえる ・自分の伝えたいことをなるべく正しい英語で表現する	・積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う ・語彙力などを自ら進んで高める態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	「 」 や 「 」 発 話	書						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	動詞と時制	○	○		○	考查 提出物 グループワーク		○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	完了形	○	○		○	考查 提出物 グループワーク		○	○	○	6
	定期考查								○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	助動詞	○	○		○	考查 提出物 グループワーク		○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 基本的な文法に関する知識を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	態	○	○		○	考查 提出物 グループワーク		○	○	○	6
	定期考查								○	○		1

[illegible]

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション

教科：外国語 科目：英語コミュニケーション 単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 Power On English Communication II ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】基本的な英語の知識を身に着ける。国際社会及び日本文化を知る。

【思考力、判断力、表現力等】自らの考え言語で表現する。他者の意見を理解する。

【学びに向かう力、人間性等】他者と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う。

科目 英語コミュニケーション の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的な英語を使えるようになる ・外国文化及び日本文化についての知識を深める	・相手が伝えたいことをとらえる ・自分の伝えたいことを適切に言語化する	・積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養う ・語彙力などを自ら進んで高める態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	「 」 や 「 」	発 話	書					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Play Me, I'm yours.	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	9
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Ethical Fashion	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	定期考查								○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	One for all, all for one	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Vending machine	○	○				考查 提出物 グループワーク	○	○	○	10

	定期考査								○	○		1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Design for connecting society, Braille Neue	○	○	○			考査 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	New banknote	○	○	○			考査 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Some secrets about colors	○	○		○		考査 提出物 グループワーク	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	Powered natto solves a global water problem	○	○		○		考査 提出物 グループワーク	○	○	○	11

[illegible]

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 自分・家族 【知識及び技能】 人には身体的発達と精神的発達とがあり、精神的には生涯を通じて発達していくこと、青年期は発達の途中であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのライフステージにおける発達課題を理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 今から自分の人生で成し遂げようことを考えようとしている。	・ライフデザイン、自立と共生、ライフキャリア、家族。 ・教科書、小論文教材、授業記録用紙、ICTの活用 ・ワークショップやアクティブラーニングを設計し、思考を深めたり、発言に自信を持たせたりする。	【知識・技能】 生涯発達においてそれぞれ未知の現在を生きていて、それぞれの年代の人が精一杯生きていることを理解しているか。 【思考・判断・表現】 それぞれのライフステージにおける発達課題について説明することができる。 小論文課題を型を守って書くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業記録、出席、発言により評価する。	○	○	○	10
	B 被服分野及び被服実習 【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。 【思考力、判断力、表現力等】 被服実習において、技術から着装まで見通した、総合的な視点で被服製作を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作の目的を理解し、学習事項を用いて意欲的に取り組んでいる。	・被服製作についての知識、被服製作の技能 ・エプロン教材布、糸、ミシン、プリント ・一人1台ミシンを用意し、個別で実習を進めることにより、早く技能が身に付く	【知識・技能】 被服製作の目的や一連の流れを理解し、被服製作に適した技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 安全面、作業効率、被服製作に適した器具の選択など、知識・技能を適切に使い、被服製作を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、集中して取り組んだ時間、被服製作の目的を理解して、作品を丁寧に扱うことができたか。	○	○	○	8
	定期考査	中間テストはなし					0
	定期考査	期末テスト		○	○		1

2 学 期	C 栄養分野及び調理実習 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自己や家族の食事を工夫する為に積極的に食の知識を学ぼうとしている。	・栄養の知識、調理の知識、調理技能 ・教科書、ワークシート、授業記録、調理実習記録、食材及び調理器具 ・4人で1班の班を作る。役割分担をして積極的に役割を全うすることができたか。調理実習記録をきちんと書くことができたか。	【知識・技能】 一生を過ごす体をつくるために、食事を大切にしなければならないことを理解している。 【思考・判断・表現】 食事の持つ4つの役割について説明ができる。栄養素の消化・九州について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や家族の体をつくる、または守ろうとするために知識を得ようとしている。				10
	D 持続可能な消費生活・環境 【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済的に自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活を目指そうとする意欲がある。	・消費行動と意思決定、消費者の権利と責任、暮らしと経済 ・教科書、プリント、ワークシート、授業記録 ・ICT機器の活用	【知識・技能】 経済的自立の意味や、生活に必要な支出と生活資金を入手するための労働について理解している。 【思考・判断・表現】 将来送りたい生活をイメージし、実現するための方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済的自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活をめざそうとする意欲がある。				10
3 学 期	期末テスト						1
	E 住生活 【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活とまりづくり、日本の住文化の継承・創造について考慮し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな住まい方が広がっていることを理解し、将来の住まいの居ごこちについて考えようとしている。	・人間と住まい、住まいの文化、住まいの設計 ・教科書、ワークシート、授業記録、住まい設計教材、色鉛筆、糊 ・間取りを配置する実習では、実際に手を動かすことによって、感覚的に間取りを理解できる	【知識・技能】 ライフスタイル・ライフステージによって住まいに求められる機能があることを理解している。 【思考・判断・表現】 住まいは時代とともに変化してきており、ライフステージによりどのような住まい方に重きを置くか考え、課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな住まい方が広がっていることを理解し、将来の住まいの居ごこちについて考えようとしている。				合計
	定期考査	期末テスト		○	○		41
				○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：
使用教科書：（ 日本文教出版 情報Ⅰ ）
教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法の理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める	様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会に生きるわたしたち	教科者P6～13	行動観察	○	○	○	1
	情報の特性	教科者P16～17	定期考査	○	○	○	1
	メディアの特性	教科者P18～19	定期考査	○	○	○	1
	問題解決の考え方	教科書P20～23	定期考査	○	○	○	2
	法的重要性と意義	教科書P24～31	定期考査	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	情報社会と情報セキュリティ	教科書P32～37	定期考査	○	○	○	4
	情報技術の発展による生活の変化	教科書P38～41	定期考査	○	○	○	1
	情報技術の発展による社会の変化	教科書P42～47	定期考査	○	○	○	1
	メディアとコミュニケーション	教科書P66～75	定期考査	○	○	○	5
2 学 期	定期考査			○	○		1
	情報のデジタル化	教科書P76～91	定期考査	○	○	○	8
	情報デザイン	教科書P92～101	定期考査	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	コンピュータのしくみ	教科書P116～129	定期考査	○	○	○	6
	アルゴリズムとプログラム	教科書P130～147	定期考査	○	○	○	9
3 学 期	定期考査			○	○		1
	モデル化とシミュレーション	教科書P148～165	定期考査	○	○	○	4
	情報通信ネットワークのしくみ	教科書P166～183	定期考査	○	○	○	7
	情報システムとデータベース	教科書P184～191	定期考査	○	○	○	3
	データの活用	教科書P192～207	定期考査	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 新様式例
高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会
 教科： 人間と社会 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
 教科担当者：
 使用教科書：（ 人間と社会 東京都教育委員会 ）
 教科 人間と社会 の目標：
 【 知 識 及 び 技 能 】自分自身で自分や社会の課題を見つけ、解決するための力を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】課題解決に向けて、情報を集め、整理・分析して考察し、話し合う力を身に付ける。
 【学びに向かう力、人間性等】自分自身の生き方やよりよい社会を実現させようとする態度を身に付ける。
 科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分自身で自分や社会の課題を見つけ、解決するために必要な力を身に付ける。	課題解決に向けて、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを説明したり、考察したことを基に議論したりする力を身に付ける。	自分自身の生き方を実現させようとする態度や、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	人間関係を築く 【知識及び技能】 人間関係の構築について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 自己理解と他者理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	学ぶことの意義 【知識及び技能】 「学ぶ」とは何か考える 【思考力、判断力、表現力等】 学ぶ意味を考え議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	働くことの意義 【知識及び技能】 「働くこと」について考える 【思考力、判断力、表現力等】 働く意義を考え議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	役割と責任 【知識及び技能】 役割と責任について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 高校生の役割と責任を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	マナーとルール 【知識及び技能】 マナーとルールについて考える 【思考力、判断力、表現力等】 マナーとルールを考え議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	スマホのコミュニケーション 【知識及び技能】 コミュニケーションを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 スマホ利用の注意点を議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	8
	選択し、行動する	・指導事項	ワークシート				

2 学 期	【知識及び技能】 選択と行動について考える 【思考力、判断力、表現力等】 最近の自分の選択を振り返る 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・教材 ・一人1台端末の活用 等	グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	チームを動かす力 【知識及び技能】 チームで活動することを考える 【思考力、判断力、表現力等】 チームの活動について議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	ワーク・ライフ・バランス 【知識及び技能】 ワークライフバランスを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 生活の充実について議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	お金の意義 【知識及び技能】 お金について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 収支の管理を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	消費者市民社会 【知識及び技能】 消費者が参加する社会を考える 【思考力、判断力、表現力等】 消費の背景を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	8
	支え合う社会 【知識及び技能】 支え合う社会について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 自助・共助・公助を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	地域社会を築く 【知識及び技能】 地域社会について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会での活動を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	8

3 学 期	自然と人間の関わり 【知識及び技能】 日本を取り巻く自然を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 自然との共生を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	科学技術と生命倫理 【知識及び技能】 生命倫理について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の発展について考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	文化の多様性 【知識及び技能】 文化の多様性について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 文 化の多様性の意義を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	2
	グローバル化が進展する社会 【知識及び技能】 グローバル化について考える 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の意義を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	1
	国際平和を築く 【知識及び技能】 国際平和について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 対立について考える 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	1
	主権者としての権利と責任 【知識及び技能】 主権者について考える 【思考力、判断力、表現力等】 主権者の自覚について議論する 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシートに真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	1

年間授業計画 様式(新カリ対応)
高等学校 令和5年度 教科
教 科 : 総合的な探究の時間 科 目 : 総合的な探究の時間
対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ G 組
教科担当者:
使用教科書: (探究ナビBasic)
教科 総合的な探究の時間 の目標:
【 知 識 及 び 技 能 】課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査した得た情報を基に分析したりする力を身に付
【学びに向かう力、人間性等】探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。
科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査した得た情報を基に分析したりする力を身に付ける。	探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	進路探究 【知識及び技能】 進路実現に向けて、自己の進路に必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 進路実現に向けて、自己の進路について調べ、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの進路実現に向けて、進路探究に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み	○	○	○	13
2 学 期	探究活動 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査した得た情報を基に分析したりする力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み レポート 発表	○	○	○	15
3 学 期	探究活動 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査した得た情報を基に分析したりする力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	ワークシート グループワークへの取り組み レポート 発表	○	○	○	7
							合計
							35